

非常用持出品・備蓄品

※ 最低限準備しておくべきもの ※
(非常持出品)

表1を目安に必要な最小限の必需品をリュックサック等にまとめておきましょう。(1袋10～15kg程度)旅行用スーツケースに保管するのもいい方法です。

表1

食料 保存食(缶詰・レトルト食品) ミネラルウォーター	燃料 ライター マッチ
生活用品 ティッシュペーパー ウェットティッシュ タオル・ナイフ・栓抜き 缶きり・ビニール袋 ベビー用品・生理用品	貴重品 現金 預金通帳 健康保険証 権利証
常備薬 特に、持病をお持ちの方は、常備薬をお忘れなく	その他 懐中電灯 携帯ラジオ ヘルメット くつ・手袋 電池

こんなものと一緒に備えておくと便利
使い古しの眼鏡や補聴器、車、バイク、自転車のスペアキー

※ 被災後の生活のために準備しておきたいもの ※
(非常備蓄品)

発災後、3日間の生活を支えられるよう、表2を目安に、取り出しやすい場所に備えておきましょう。

表2

食料 非常用食糧(缶詰・レトルト食品など長期保存が利くもの) 飲料水(1人1日3ℓが目安)	燃料 卓上コンロ・携帯コンロ・固形燃料・予備ボンベ
生活用品 トイレトペーパー ビニールシート 紙おむつ・生理用品 簡易トイレ・寝袋 衣類・洗面具・毛布 キッチン用品 ラップ・お皿・はし	医薬品 懐中電灯(1人に1つ)・新聞紙 電池(多めに用意) 文房具・ガムテープ

特に、持病をお持ちの方は、常備薬をお忘れなく
こんなものと一緒に備えておくと便利
携帯電話も充電できる手回しラジオ・ジャッキ

早期避難(事前避難・自主避難)のすすめ

身のまわりに異変を感じたら、自分で判断して、迷わず早めに避難することが大切です。近年、住民の自主避難により、その後発生した災害から人的被害をまぬがれた事例が全国で数多く報告されています。事前避難、自主避難の判断材料となる情報は、テレビやラジオのほか、気象庁のホームページ等で配信されていますので、雨の日は少しでも気になったら、これらを確認するようにしてください。

避難情報(避難準備情報・避難勧告・避難指示)

避難情報を発表・発令する時の状況と災害発生予測との関係、住民に求める行動は次のとおりです。

	発令時の状況	災害発生(予測)との関係	住民に求める行動
避難準備情報	・人的被害が発生する可能性が高まった状況で、要援護者等、特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならない段階、又は今後の状況により早めの避難が必要と判断される状況	災害発生予測時刻まであと90～120分程度 自主避難の要請の場合は夕刻前や天候の悪化等避難が困難となる状況を把握した時点	・要援護者等、特に避難行動に時間を要する者は、計画された避難場所への避難行動を開始する(避難支援者は支援行動を開始する) ・上記以外の者は、家族等との連絡や非常用持出品の用意等避難準備を開始する ・今後の天候の悪化、夜が近づく、浸水が広まるなどの状況から、必要と判断する住民が自主的に避難を開始する
避難勧告	・人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況で、通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階	災害発生予測時刻まであと60分程度	・通常の避難行動ができる者は、計画された避難場所への避難行動を開始する
避難指示	・前兆現象の発生や現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ・堤防の隣接地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況	災害発生予測時刻まであと30分もない程度 やむを得ず予測なく発生した災害については、人的被害の発生直後	・避難中(避難勧告等の発令後)の住民は、確実な避難行動を直ちに完了する ・未だ避難していない住民は、直ちに避難行動に移る ・災害発生までに避難が完了するいとまがない場合は、生命を守る最低限の行動をとる